



## 学びと交流が広がる伝統の鼓動～第18回笛吹市太鼓フェスティバル～【笛吹市太鼓連合】

### 伝統芸能を通じて広がる「学び」と「交流」

1月24日(土)、笛吹市いちのみや桃の里ふれあい文化館で、笛吹市太鼓連合主催による太鼓フェスティバルが開催されました。地域活性化と世代間交流を目的に、子どもから大人までが参加し、和太鼓を通して日本の伝統文化に親しみました。

### 幅広い世代が共演した迫力のステージ

プロ奏者・前田タクヤさんの道場による演奏で幕を開け、保育園から高校、一般団体まで11団体が出演。笛吹高校すいれき太鼓部は、県芸術文化祭最優秀賞受賞曲を披露し、会場を魅了しました。小学生から中学生までが共演する姿も見られ、和太鼓が世代をつなぐ文化であることが感じられました。



英保育園 (御坂町)



博愛保育園 (八代町)



御所保育園 (八代町)



木の花保育園 (一宮町)

### 会場に広がる温かいまなざし

園児の演奏を見た観客からは「かわいいね」「こんなにできるんだね」という声も上がり、緊張しながらも楽しそうに太鼓を打つ姿が印象的でした。演奏後のステージインタビューでは、小学校で頑張りたいことを語る場面もあり、会場では和やかな雰囲気になりました。

### 地域と未来をつなぐ太鼓の音

和太鼓を学ぶ場を多年代に提供し続けることは、地域の活性化や人材育成につながります。本フェスティバルは、伝統文化を未来へ受け継ぐ大切な舞台となりました。フェスティバルは、伝統文化を未来へ受け継ぐ大切な舞台となりました。



篠笛の音色が会場に響く



迫力の太鼓演奏が続く

## まなびの活用を目指して～令和7年度 活動実践全体発表会～ 【山梨ことびき勸学院】

### 2年間の学びを発信する場

1月30日(金)、山梨県立文学館講堂にて、「活動実践全体発表会」が開催されました。本発表会は、人生100年時代を主体的に生きる力を育むことを目的に、2年間の学習成果を発表する集大成の場です。甲府・峡東A・B、中北、峡南、南都留、北都留の6教室から代表生徒が登壇しました。

### 協働と探究が生んだ学びの成果

発表では、戦争と平和、富士山信仰の歴史、再生可能エネルギーなど多様なテーマが取り上げられました。甲府・峡東A教室2年生は「山梨の伝統から学ぶー未来へ語り継ぐー」、甲府・峡東教室B教室2年生は「山梨におけるグリーンエネルギー」を発表。学生たちは調査や話し合い、練習を重ね、協働的に学びを深めてきました。



甲府・峡東A教室2年



甲府・峡東B教室2年

会場には一般来場者を含め約250名が来場し、学び続ける姿勢の大切さが伝わる一日となりました。

## 響け、八代のハーモニー ～心を一つに届けた音楽発表会～

【笛吹市立八代小学校】

### インフルエンザの影響を乗り越え、2グループに分けて開催

11月27日（木）、音楽発表会が体育館で開催されました。今年はインフルエンザの流行により、日程と実施方法を変更し、全校児童を「1・3・5年」「2・4・6年」の2グループに分け、保護者も入れ替え制とする分離開催としました。当日は保護者や地域の方々が多数来校し、児童たちの歌声と演奏に温かい拍手を送りました。

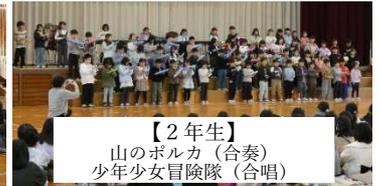
各学年は特色ある合唱や合奏を披露し、体育館には多彩な曲目と歌声が響き渡り、会場は笑顔に包まれました。さらに、金管バンドの力強い演奏や、全校合唱『もみじ』では心を一つにした美しいハーモニーが広がり感動の時間となりました。

### 努力の積み重ねが生んだ感動

2週間の延期期間中、「体調管理に協力してください」保護者や家族への感謝が学校より伝えられました。児童からは、「多くの人に聴いてもらえて嬉しかった」、保護者からは「このような状況でも実施してくれて良かった」という声が聞かれました。2週間の延期した期間、遊びを少し我慢して練習に励んだという児童もあり、当日の発表にはその努力がにじみ出ていました。児童たちは、曲に込めた思いや仲間との絆を音にのせ、テーマである「心を一つに最高のハーモニー」を見事に体現した発表会となりました。



【1年生】  
ドラえもん（合奏）  
ともだちになろうよ（合唱）



【2年生】  
山のポルカ（合奏）  
少女少女冒険隊（合唱）



【3年生】  
ミッキーマウスマーチ（合奏）  
帰りの会のサンバ（合唱）



【4年生】  
名探偵コナンメインテーマ（合奏）  
大切なもの（合唱）



【5年生】  
キリマンジャロ（合奏）  
島人ぬ宝（合唱）



【6年生】  
旅立ちの日に（合奏）  
帰る場所（合唱）



全校合唱「もみじ」



金管バンド  
A Whole New World  
He is a Pirate

## 挑戦する心が未来をつくる～福祉のこころ醸成事業 創立150周年記念「福祉講演会」～【山梨市立岩手小学校】

### パラリンピアン鈴木徹さん、母校で講演



経験談が児童の心に響く

11月26日（水）、創立150周年を記念した「福祉講話会」が体育館で行われ、全校児童のほか、地域住民や保護者も参加しました。講師として登壇したのは、パラリンピック6大会連続入賞を果たした、岩手小出身の義足の走り高跳び選手、鈴木徹さんです。

鈴木さんは、小学生の頃のつらい経験や逃げてしまった時期、中学・高校時代に努力を重ねたこと、交通事故で右足を失った後に再び高跳びへ挑んだ経緯を紹介しました。「苦手なことを克服するのも大切ですが、気持ちを切り替えて別のことに挑戦するのも大切です。『できない』と思わず、まずは一度やってみてほしい」と児童へエールを送りました。

### 講演後は児童が走り高跳びに挑戦

講演後、児童は実際に走り高跳びに挑戦し、「跳び方のコツを教えてもらってうまくいった」「もっとチャレンジしたい」と前向きな声が多く聞かれました。



跳び方のコツは実演説明



うまく飛べるようになった！



義足の説明



スポーツ用義足の強さを体験

本事業は、学校と地域が協力して福祉教育を進め、児童たちに思いやりや助け合いの心を育てることを目的に、市内各小学校で実施されています。150周年を迎えた岩手小にとって、挑戦する気持ちを育む貴重な学びの機会となりました。

本事業は、学校と地域が協力して福祉教育を進め、児童たちに思いやりや助け合いの心を育てることを目的に、市内各小学校で実施されています。150周年を迎えた岩手小にとって、挑戦する気持ちを育む貴重な学びの機会となりました。

## 伝統を児童がつなぐ地域の知恵 ～川倉集会～

【山梨市立日川小学校】

1月20日（火）、日川小学校グラウンドで、地域に伝わる治水工法「川倉」を学ぶ全校集会が行われました。学校運営協議会委員や地元消防団、保護者の参加のもと、6年生



見事な動きでの作業

が地域の歴史を学びながら実際に体験する取り組みで

す。水害と向き合ってきた重川や日川の歴史を知り、学び・交流・体験を通して防災の大切さを実感する貴重な機会となりました。

### 6年生が力を合わせてつくり上げた川倉

川倉は丸太を組んで流れを弱め、堤防を守る伝統工法で「聖牛」とも呼ばれます。6年生は声を掛け合いながら丸太を組み上げ、15分ほどで完成。真剣な姿に地域の大人から感心の声が上がりました。低学年の児童は「大きい！」「すごい！」と目を輝かせ、完成品に触れて確かめる様子もありました。

### 学びの伝統を受け継ぐ誇り

6年生は「練習も楽しかった」「今日の出来も良かった」と誇らしげ。秋から練習を重ね、1時間以上かかっていた組み立ても、先輩を目標に努力し、15分で完成できるようになりました。今回の体験で得た協働の大切さや達成感、地域の歴史への理解は大きな学びとなりました。見守った5年生以下の児童も「自分たちも6年生になったら頑張りたい」と目標を持ち、伝統を受け継ぐ意識が育っています。



完璧な川倉の完成



後輩児童が川倉に感動



多くの方が見守る中実施



2つの川倉をつくる

## 祈りと伝統文化にふれる学び ～黒法師大天狗祭～

### 地域と歴史を感じる特別な時間

1月21日（水）、清雲山金剛院で3・4年生が社会科学習の一環として「黒法師大天狗祭」の護摩焚き・湯縦神楽に参加しました。学校から徒歩10分ほどの寺院で行われるこの行事は、願いを託した護摩木を焚き上げ、無病息災や安全を祈る伝統儀礼です。火を扱う厳かな場に立ち会うことで緊張感や礼儀を学ぶ大切な機会になりました。

### 炎に祈りを込める儀式を体験

本堂では僧侶の読経が響き、護摩壇に火が入ると一気に炎が立ち上がりました。児童は独特の雰囲気にも包まれながら、護摩木が焚かれていく様子を真剣に見つめていました。僧侶からは「将来を担う児童の皆さんが来てくれたことが嬉しい」との言葉や、玉宮の歴史についての説明があり、児童は地域文化への理解を深めました。

### 心に残った学び

儀式後には、児童が大きな声で感謝を伝える場面で、「お祭りの本来の姿が知れた」「みんなが幸せになればと思った」「室内で火を焚くことに驚いた」といった声上がり、初めて触れる伝統文化が大きな学びとなった様子が伺えました。地域の方からは「毎年1月21日に行うので、また来てください」と温かく声をかけていただき、子どもたちにとって地域とのつながりを実感し、伝統文化に触れる貴重な体験となりました。

【甲州市立玉宮小学校】



本堂いっぱい人が集う



釜の湯で清められる



合掌し祈祷する

## 9年間の給食にありがとう ～給食センター見学～

【山梨市立山梨南中学校】

### 作業工程を間近で見て、支える人の仕事を知る

11月28日（金）、3年生が山梨市学校給食センターを見学しました。学校給食は健康の増進や望ましい食習慣の形成に大きな役割を果たしており、給食センターの見学を通して、食材の流通や調理に携わる人の仕事、食文化などを多方面から学ぶことを目的としています。

見学では、食材の荷受・検収から下処理、加熱調理、配缶・配送、学校での提供、回収・洗浄、保管までの作業の流れを実際に見て回りました。食材検収口や諸水槽、給食配送車、調理作業などを間近で見学し、生徒たちは多くの疑問をその場で解決していました。詳細な説明動画の視聴や、栄養教職員による丁寧な解説、クイズ形式の学習も行われ、知らなかったことを深く知る時間となりました。

### 地元食材と安全な献立づくりへの理解を深める

給食センターでは、郷土食や県内産農産物を取り入れた献立、季節感や行事食を意識した献立づくりが行われています。山梨市エコース学習で各学校で収穫したサツマイモを給食に活用するなど、学校と地域が連携した食育活動も進められています。



使用している道具に触れ、驚く

生徒からは「思った以上に消毒や検査がしっかりしていた」「給食は毎日の楽しみ」「9年間の給食を振り返り、感謝の思いが強くなった」などの声が聞かれました。約2,500食を調理する現場を知り、残りの給食の時間を大切に味わいたいと感じた生徒も多かったです。

生徒からは「思った以上に消毒や検査がしっかりしていた」「給食は毎日の楽しみ」「9年間の給食を振り返り、感謝の思いが強くなった」などの声が聞かれました。約2,500食を調理する現場を知り、残りの給食の時間を大切に味わいたいと感じた生徒も多かったです。



充実した施設は、食育見学をを考えて造られている



丁寧な説明の紹介ビデオ

## 生徒の学習成果を地域へ発信 ～秋の大収穫祭～

【山梨県立高等支援学校桃花台学園】

### 650人以上が来場したにぎやかな一日



どの会場も大盛況でお客さんが溢れる



### 魅力あふれる販売ブースとイベント

食品加工コースはパンや焼き菓子販売、カフェを運営し、農業生産コースは新鮮野菜や焼き芋、大学芋やポップコーンの販売、さらに「にんにく詰め放題」イベント等を実施しました。環境メンテナンス



熱気最高潮の餅まき

コースは花苗や木工製品、豚汁の販売を担当する他、校内をきれいに整えて来場者を迎えました。また、第10回記念として餅まきイベントも行われ、会場は大きな歓声に包まれました。生徒たちが自信を持って取り組み、地域の方々と交流した大収穫祭。学習の成果と成長が感じられる、充実した一日となりました。



車までの配達サービス



カフェでくつろぐ

生徒たちが自信を持って取り組み、地域の方々と交流した大収穫祭。学習の成果と成長が感じられる、充実した一日となりました。

**家庭・地域の大切さを再確認**

11月12日（水）、甲州市民文化会館2階大会議室にて、「秋のこどもまんなか月間」の一環として青少年健全育成推進甲州市民集会が開催されました。会場には市民や関係者が参加し、家庭・学校・地域が一体となって子どもたちを育てる大切さについて理解を深めました。

本集会では、「家庭の日」「青少年を育む日」の啓発を目的としたポスター・作文・標語・写真の4部門の表彰が行われました。夏休み期間を中心に市内の子どもたちが取り組んだ953作品の中から優秀な33作品が市長賞、教育長賞、市民会議会長賞に選ばれ、市長賞受賞者による発表も行われました。児童生徒は作品に込めた思いや取り組みの背景を語り、会場からは温かな拍手が送られました。

**親子の触れ合いと地域の力を育む機会に**

表彰作品は、11月11日から約1か月間、甲州市民文化会館ロビーに展示されました。子どもたちが制作した作品には、家族のぬくもりや地域への想いが感じられるものが多く、訪れる人々の心を和ませました。

集会を通して、親子が触れ合い、家族で話し合う時間の大切さ、そして目標を持って地域で活躍する子どもたちを支える意義が改めて共有されました。甲州市では、今後も家庭・学校・地域が連携しながら、青少年の健全育成に取り組んでいきます。



受賞者には多くの方から温かい拍手が送られる



受賞者全員に賞状が贈られた



受賞者による発表



展示された作品を訪れた人々が感心する

**スポーツの楽しさを体験！ ～スポーツ教室～**

【笛吹市青少年育成推進協議会】

**プロスポーツ選手の指導でチャレンジ**

11月16日（日）、笛吹市いちのみや桃の里スポーツ公園体育館で、小学生約50名を対象にスポーツ教室が行われました。講師には陸上の佐野夢加さん、山梨ファイヤーウィングの辻井佑弥選手と栗谷俊輝選手、ブレイキングダンス講師 UEN さんを迎え、プロスポーツ選手から直接学べる貴重な機会となりました。

**3種目を順番に体験**

はじめの会后、児童は3チームに分かれ、走り方のコツ、投げ方・打ち方、音楽に合わせたステップなどを体験しました。学年に応じた内容で、子どもたちからは「友達に会えるのがうれしい」「新しい友達ができた」



早く走るには、ウデを振って足を上げて



相手にまっすぐボールを投げる



ステップ、ターンを組み合わせ



ボールをよく見て思いっきり振る

「楽しかったけど楽しかった」「もっとやりたかった」など、笑顔いっぱいの声が聞かれました。

**励まし合う温かな時間**

講師は「絶対できるよ」と優しく声をかけ、難しくて涙した子には丁寧に寄り添いました。別のプログラムが始まって前回のダンスを続ける姿もあり、自分の“好き”を見つけるきっかけになったようです。子ども、保護者、運営スタッフの笑顔があふれる、楽しい半日となりました。



プロの先生方を目の前に

## 『峡東地域 県立学校 出前授業』実践報告

### プログラムでドローン操作に挑戦～産業技術短期大学校の出前授業～【甲州市立大藤小学校】

#### 専門家から学ぶ“ワクワクの体験学習”



ドローンをプログラムで飛ばす

1月26日(月)、大藤小学校体育館で山梨県立産業技術短期大学校による出前授業が行われ、4～6年生がクラブ活動の時間に参加しました。「プログラムを楽しんでみよう」をテーマに、Scratchで作成したプログラムを使ってドローンを操作する事に挑戦しました。電子技術科の南湖先生の丁寧な指導のもと、楽しみながら発想を広げる機会となりました。

#### 話し合い・試行・改善が生まれる学びのプロセス

2人に1台ずつ機材が用意され、児童は相談し合いながら目標を決めてプログラムを作成。南湖先生の「何をしてもドローンは壊れませんよ」との言葉に後押しされ、多くの児童が自由に動きを工夫していました。思い通りに飛ばない場面では「どうすればいい?」と自然に話し合いが始まり、一つ達成すると次の挑戦へ進む姿が見られました。楽しさの中に、協働・探究の学びが確実に息づいていました。

#### 子どもたちの挑戦が未来につながる

授業が始まる時に「楽しかった!」と会場に駆け込んで来た児童が、実際の体験では「良いこと思いついた!」と試行を次々に重ね、終始笑顔で主体的に取り組む姿が印象的でした。南湖先生から「難しい印象がある分野こそ、まず楽しんで興味を広げてほしい」との思いが込められた授業でした。今回、教科書を超えた学びや、専門技術を持った大人との交流を通して、子どもたちの未来を大きく広げる貴重な機会となりました。



2人で1台の機材が用意された



ドローンが飛ぶと歓声が響く



輪をくぐらせるには?



チャレンジが続く

### 高校トップコーチが伝える“バスケットボールの魅力”～日川高校の出前授業～【笛吹市立境川小学校】

#### 高校の学びに触れる貴重な時間

2月9日(月)、境川小学校体育館で日川高校によるバスケの出前授業が、6年生の体育の授業で行われました。指導は、同校保健体育科の古屋貴弘教諭です。古屋教諭はバスケ部の顧問で、チームを関東大会やU18日清食品ブロックリーグへ導き、山梨県選抜チームの監督として国民スポーツ大会では全国3位入賞を果たすなどの実績をもつトップコーチです。反応ドリルや鬼ごっこなどゲーム性の高いプログラムに、児童は笑顔で積極的に取り組み、シュートが決まるたびに歓声が上がりました。

#### 個性を生かすチームワーク

活動を通して、児童からは「協力して助け合うこと」「チームワークが大切」など主体的な気づきが生まれました。古屋教諭は「個性を合わせることでチームの力になる」「自分で判断し行動することが成長につながる」と語り、高校生にも伝えている言葉を児童にも力強く伝えました。



高校生に伝えている事を児童にも伝える



日川高校バスケ部の伝統

語り、高校生にも伝えている言葉を児童にも力強く伝えました。

#### つながりが生む新しい学び

「僕は日川高校に行く!」と未来を語る児童の姿も見られ、キャリア教育としても大きな意義のある時間となりました。境川小学校では、今後も出前授業を含め、さまざまな地域連携を積極的に進めることで、多様な出会いや体験を通して児童の視野を広げていきたいとしています。



ゲーム感覚で積極的に楽しむ



専門的な視点で教える

『峡東地域 県立学校 出前授業一覧』をご活用ください!  
◇出前授業を希望する場合は「各校の担当」に連絡をお願いいたします